

## 「第19回結心会モーター部会報告」

2025年2月19日13時から17時までの日程で、第19回モーター部会が開催されました。

冒頭、坂井モーター部会長より「先日、自主規制委員会で作成した整備工場保険代理店取扱いマニュアルに沿って自主点検を実施し、お客様本位で保険事業展開するにあたっての不備を確認でき、大変ありがたかったです。保険業法改正が今国会会期中に決まると思いますが、我々整備工場は常にお客様第一主義で取り組んでおり、これまで通常でやってきたことを整理し、マニュアル化することで、保険を扱う社員の質の担保ができると確信しました。現在、業務品質に関する第三者機関となる「自動車関連兼業保険代理店推進機構準備委員会《仮》」立ち上げに向け、定期的な打ち合わせも進んでいて、マニュアルや満期・事故管理といった顧客管理システムやセキュリティシステム等も、それぞれ作成業者さんと打ち合わせしつつ、着実に進んできています。我々モーター部会がリードして整備工場保険代理店が顧客本位の保険募集をしていくモデルを構築し、多くの整備工場保険代理店に導入してもらうよう推進していきたいと思っておりますので、ご支援宜しくお願い申し上げます。」コメントをいただきました。

続いて、有限会社ベストブレン代表取締役 兼田 仁氏が登壇され、今夏、相続を取り上げた「ソーゾク」という映画が上映されることをお話いただきました。

「後期高齢者が75歳を超え、相続は身近な問題ですが、なかなか手がつけられない問題でもあります。これを映画にすることで、広く社会で認知してもらいたいと考え、製作しました。この映画は「遺産相続」の映画です。と言っても、莫大な遺産を巡って殺人事件が起きるような、血なまぐさいサスペンス映画ではありません。ごくごく普通の平凡な家庭でも、親が亡くなれば遺産相続に直面します。それはしばしば親族で争う「争族」に発展するのです。本作品は誰もが必ず経験する「ちょっとした相続トラブル」をユーモラスに描いた映画で、これを整備工場です自主上映いただき、相続関連イベントをしていただければ、より多くの方に遺産相続の問題を身近に感じてもらえると思ひ、提案に來ました。特に地方の整備工場で取組んでいただき、高齢者の方に気付きを与えて欲しいと思ひますので宜しくお願い申し上げます。」といった内容でお話いただきました。

続いて、株式会社Rebglo 平野 隆平氏からは、当該社が国産の「世界初の量産電気自動車」で使用されたバッテリーモジュールをリフレッシュし、高性能・高信頼性の事業用BCP電源として生まれ変わらせた、環境配慮型の蓄電池ユニットを製造しており、そのために整備工場です回収・交換したバッテリー回収の協力依頼がありました。

その後は、第3回自主規制委員会で参加者全員で意見交換しました。株式会社ニュート

ン・フィナンシャル・コンサルティング 体制整備推進事業部 山内 岳一郎 氏からは「整備工場兼業保険代理店向けに保険取扱いマニュアルを作りました。既に生命保険代理店用に業務品質マニュアルを作成しているので、これをベースに自賠責保険、自動車保険を扱う保険代理店専用のマニュアルを作りました。自賠責保険も内容を説明できる動画を作り、お客様がご覧になられたら確認ボタンを押していただくことでエビデンスが取れるように作りました。実際に結心会モーター部会の3社の整備工場で自主点検いただき、1社については立ち合わせていただき、何をエビデンスにするか等も現場で確認しました。今後、多くの整備工場で採用いただき、ブラッシュアップしていくと共に、保険募集人の方に認知していただく教育も同時に進めていきます。まずはモーター部会会員全てで採用いただき、横連携で全国すべての整備工場に案内できるようにしていき、整備工場がいつまでも自動車保険の扱いができるよう下支えしていきますので、宜しくお願い申し上げます。」とのコメントをいただき、積極的な意見交換をしました。

※次回結心会モーター部会は、5月21日13時から17時開催予定です。

